

平成28年度 宅地建物取引士資格試験 解答速報

本解答は平成28年10月16日17時30分に資格の大原が独自に作成したもので、予告なしに内容を変更する場合があります。また、本解答は資格の大原が独自の見解で作成/提供しており、試験機関による本試験の結果等について保証するものではありません。

本解答の著作権は資格の大原に帰属します。無断転用・転載を禁じます。

問題	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解番号	4	4	3	2	3	3	3	1	2	4

問題	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解番号	1	2	2	1	3	1	4	1	4	1

問題	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解番号	4	3	2	3	2	1	3	4	3	4

問題	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正解番号	4	1	3	2	4	4	2	1	2	1

問題	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
正解番号	3	4	2	2	3	2	4	1	3	1

合格推定点	36±1
-------	------

※ 正解番号及び合格推定点等については、今後、変更する場合がございます。

※ 各問題における正解番号の根拠、合格推定点の根拠等につきましては、電話等でのお問合せは受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。

平成28年10月16日 17:30現在

資格の大原 宅建講座

無断複写・複製を禁じます。

下記の中例は平成28年10月16日17時30分に資格の大原が独自に作成したもので、予告なしに内容を変更する場合があります。また、下記の中例は資格の大原が独自の見解で作成/提供しており、試験機関による本試験の結果等について保証するものではありません。下記の中例の著作権は資格の大原に帰属します。無断転用・転載を禁じます。なお、下記模擬試験問題につきましては、電話等でのお問い合わせは受け付けておりませんので、予めご了承ください。

速報版!

大原オリジナル教材は、統計問題（問48）もズバリのち中!

ズバリのち中! 本試験問題が解ける!



【資格の大原】全国統一公開模擬試験 問48 正解 4

【問 48】 宅地建物の統計等に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 平成26年度法人企業統計年報（財務省、平成27年9月公表）によれば、平成26年度における不動産業の経常利益は約4兆6,000億円で、対前年度比12.9%減となった。
- 2 建築着工統計（国土交通省、平成28年1月公表）によれば、平成27年の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅ともに前年に比べ増加した。
- 3 平成27年度国土交通白書（平成28年6月公表）によれば、平成27年3月末現在の宅地建物取引業者数は約12.3万で、前年度に比べ減少した。
- 4 平成28年地価公示（平成28年3月公表）によれば、平成27年の1年間の地価変動率は、全国平均では、住宅地がマイナス0.2%、商業地がプラス0.9%で、住宅地は下落したものの下落率は縮小し、商業地は横ばいから上昇に転じ、全用途平均では8年ぶりに上昇に転じた。